

2022 年度 小委員会活動成果報告

(2023 年 2 月 1 日作成)

小委員会名	強震観測小委員会		主 査 名：大野 晋 就任年月：2021 年 4 月
所属本委員会 (所属運営委員会)	構造委員会 (振動運営委員会)		委員長名：五十田博 (主 査 名：菊地 優)
設 置 期 間	2019 年 4 月 ～ 2023 年 3 月		
設 置 目 的 各年度活動計画 (箇条書き)	強震観測とその利用に関する研究と技術開発を推進し、そのための環境整備を通して、建築物・都市の地震災害軽減に資することを目的とする。 初年度：各地域の強震観測に関する情報交換・被害地震の強震観測情報の調査 2 年度：観測体制・データ収集・利用方法等に関する現状分析、大会 PD 開催 3 年度：強震観測データの分析による建物・地盤の地震応答の解明 4 年度：強震観測成果をより有効に活用する方法の具体化、シンポジウム開催		
委員構成 (委員名 (所属))	委員公募の有無：無		
	主査：大野晋 (東北大学) 幹事：神原浩 (清水建設)・高井伸雄 (北海道大学) 委員：赤澤隆士 (地域地盤環境研究所)・小笠原さおり (小堀鐸二研究所)・鹿嶋俊英 (建築研究所)・功刀卓 (防災科学技術研究所)・重藤迪子 (九州大学)・徳光亮一 (大成建設)・飛田潤 (名古屋大学)・中村充 (大林組)・三浦弘之 (広島大学)		
設置 WG (WG 名：目的)	強震観測成果展開WG：これまでの活動成果をもとに構築・整備を進めている「強震観測アーカイブ」に関する普及・利用促進のための成果公表の検討を主に行う。		
2022 年度予算	120,000 円	ホームページ公開の有無：有 委員会 HP アドレス： http://wiki.arch.ues.tmu.ac.jp/smo_ajj/	

項 目	自己評価
委員会開催数	4 回 (年度内計画を含む)
刊行物 (シンポジウム資料等は除く)	
講習会	
催し物 (シンポジウム・セミナー等) *能力開発支援事業委員会承認企画	1. 第 7 回強震データの活用に関するシンポジウム(2022)「強震観測における新技術と将来展望」『同名資料』 参加者数 135 名
大会研究集会	
対外的意見表明・パブリックコメント等	
目標の達成度 (当初の活動計画と得られた成果との関係)	1. 各地域や機関の観測事例、最新の観測機器とシステム、データ活用の動向、強震観測の普及展開・利用促進における課題に関する検討を行い、当該分野の連絡会としての機能を果たした。 2. 普及資料「強震観測の手引」と基礎資料「強震観測建物台帳」の拡充を行うとともに、それらをまとめた強震観測アーカイブの活用について検討した。 3. 活動成果をシンポジウムで発表し、普及展開に努めた。
委員会活動の問題点・課題	1. 強震観測の普及とデータ活用に向けた継続的な取り組み 2. 関連する他の小委員会、関連学協会等との情報交換、連携